

特殊詐欺防止通信

智頭警察署
平成31年3月

高校生と協働して特殊詐欺被害を防止！！ (第十八弾)

智頭警察署では、みなさんに特殊詐欺防止通信を配布し、特殊詐欺被害に遭わないよう、注意喚起をさせてもらっています。

今回は、新たな特殊詐欺手口の紹介に加えて、昨年、智頭警察署が鳥取県立智頭農林高等学校を「ちのりん安全・安心サポーター」に委嘱させていただき、同校の生徒と協働して特殊詐欺被害防止広報を行っている様子を紹介します。

まず最初に、新たな特殊詐欺手口を紹介します。

1. 物を送ったが届いてる？詐欺

ある日、離れて暮らす息子や孫から、電話やショートメールで、「●●（季節の食べ物等）を送ったけど届いてる？」と思わぬプレゼントの連絡が…

しばらく顔を見ない家族の一員を装った犯人からの連絡に、ついつい話を信じ込んでしまったあなたが「まだ届いてない」と答えると、犯人は「また連絡する」と言って一旦連絡を切ります。

数後日、犯人から「届いたか？」と再度確認の連絡があり、あなたが「まだだ」と答えると、犯人は「送り先を間違えたかもしれない。箱の中に大切なもの（会社の重要な資料やお金、キャッシュカード、通帳等）を間違えて入れてしまった。至急必要になる。」等と言って、あなたに助けを求めるふりをして、あなたから現金や通帳、キャッシュカード等をだまし取ろうとします。

重要!!



どうですか？
以前に紹介した、息子や孫を語ったオレオレ詐欺に似ていますよね。

- ★一人で決めることなく、必ず本人に確認をとること！
- ★万一、身に覚えのない商品が届いても安易に受け取ったり、開けたりしないこと！！
- ★怪しいと思ったら警察、家族やご近所さんに相談を！！
～裏面に続く～

2. ふるさと納税を装った偽サイト

みなさんの中には「ふるさと納税」を利用されている方もおられるのではないのでしょうか。

各自治体の特産物を軸に、魅力的な返礼品があります。

ただ、この「ふるさと納税」を申し込む際、特に注意をしていただきたいことがあります。

それは、インターネットを利用した申込みです。

「ふるさと納税」の申し込みを悪用して、お金をだまし取ろうとする偽のホームページ（偽サイト）が存在します。

当然、正規のホームページではないので、返礼品が届くことはありませんし、場合によっては、あなたが入力した個人情報
を犯人に教えることになり、悪用されてしまいます。



偽のホームページかどうか分からない！と思ったあなた！
次の項目に当てはまれば、偽のホームページの可能性が高いので注意してください！！

- ★「値引き」や「セール」の表示がある。
※納税にそのようなものがあるはずがありません！
- ★振込先が特定の企業や個人名義になっている。
※振込先は基本「自治体」です。
不安を感じたら、自治体に直接聞きましょう！
- ★運営会社の住所、電話番号、メールアドレス表示がない。
※フリーメールが使用されている可能性がある所以要注意
- ★日本語がおかしい。
※ホームページを作っている者が日本人ではない場合が！

いかがでしたか？

今回紹介した手口以外にも、「有益」に思える話や条件を出すことにより、警戒心を緩めたあなたの心の隙間に、犯人はあの手この手でお金をだまし取ろうとしてきます。

年齢・性別に関係なく、特殊詐欺被害に遭う可能性があります。

そうした被害を防止するため、警察と協働して、特殊詐欺被害防止を呼び掛けているのが、「ちのりん・安全安心サポーター」である鳥取県立智頭農林高等学校の生徒です。

生徒には、同校が行っている販売実習（通称「ちのりんショップ」）で、生徒が丹精込めて育てた野菜や手作り食品等を販売する際、特殊詐欺被害防止のための広報グッズを配布して声掛けを行ってもらうことにより、特殊詐欺被害に遭わないための広報を実施してもらっています。

智頭警察署 0858-75-0110
警察総合相談電話 #9110



平成30年9月15日
委嘱状交付式